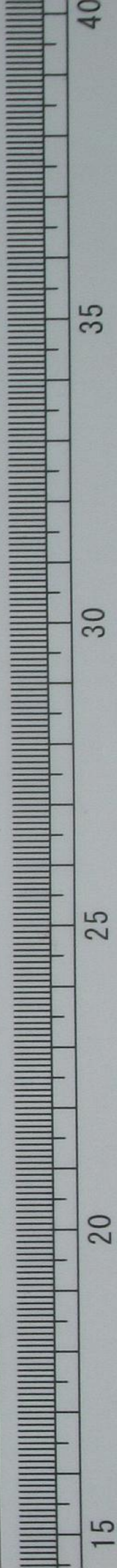


火教大意 林董譯 下

柳田文庫
文庫11
A1524
2





文庫 11
A/1524
2

火教大意卷下

林董 口譯

干河岸貫一筆記

第六章

ゼンド、アベスタノ性質

今ヤゼンド、アベスタノ書中ヨリ抜抄セル文ノ
前書ニ云フ所ノ相狀ヲ明カニ證徴シ以テ其兄
弟ナルヴエダト出ゼンド、アベスタノ兄弟ト云フト其
精神ノ殊ナル所以ヲ示サントス夫ゼンド、アベ
スタトヴエダトハ古キアリアンヲ以テ母語ト

火教大意 卷下 三十一 干河岸貫一筆記



レテ生シタル學生ノ子語ニシテ以撒ト雅各ノ如ク兄弟未タ生レサル前ヨリ競争セシコトハ疑ヒヲ容レサル所ナリ此ニ由テ觀ルニ疎ナル理學者カ未タ分析ノ學術アルヲ知ラス徒ラニ聚合物ヲ以テ元素ト心得シカ如ク渾テ一般ノ宗教ノ異ナル所ヲ見スレテ直チニ諸教一致ノ論ヲ為ス者ハ未タ皮相ノ見タルコトヲ免カレサル也故ニゴツトウラルツハ曰ク一般ノ宗教ハ其主義ノ相同キ所アルヘシト雖トモ孔夫子ウエダ耶蘇ノ教書ヨリ僅ニ二三ノ文ヲ摘取シ其

同シキ處アルヲ以テ此等ノ教ハ渾テ同主義ナリト云カ如キ疎漏短簡ナル手段ヲ以テ知り得ヘキ者ニハ非ス各自ノ宗意ヲ精密ニ玩索シ明了ニ領得セル後チニ於テヨリ始メテ其中ニ就テ某ノ部分ハ一般ノ宗教ニ普通ナル者ナリト云コトヲ説キ得ヘシト

ゼンド、アベスタノ書ヲ繙ク人若シ此書中ニ於テ神教或理學ノ事ヲ記載シタルヲ見ントヲ豫期セハ太タ失望スヘシ何トナレハ此書ハ理學ノ論ニハ非シテリトルシ日用諷誦ノ經ナリ

即チ讚歎祈願感謝ノ句ヲ集合セル者ナリ中ニ
於テ種々ノ神ニ祈願スル言アリ然リト雖トモ
オルマツツヲ以テ至尊至貴ノ神トシテ其他ノ
神ハミナ「オルマツツ」ノ屬類タル者ノ如シ
ゾーロストル曰ク我ハ光輝ヲ以テ圍繞セラレ
タル萬物ノ創造者「オーラマスタ」(即チ「オルマツ
ツ」)ヲ拜跪尊重ス我ハ七個ノ「アーチアンジェル」
大夫即チ保護神「アムシヤスパンズ」ヲ拜ス我ハ
最初ノ牛ノ身體及ヒ牛ノ魂神ヲ拜ス我ハ渾テ
不死ノ物ノ中ニ於テ最モ疾速ナル「オルマツツ」

ノ神火ヲ拜ス我ハ最モ尊高ナル不死ナル清淨
ナル光明ナル主宰速疾ナル「オルマツツ」ノ眼目
ナル譯者曰ク大陽ヲ「ニスラ」ヲ祈念ス我ハ神聖
ナル「アルスタツト」ニ祈ル我ハ善人ノ「アラビシ」
(精神)及ヒ「オルマツツ」ノ「アラビシ」我ノ「アラビシ」
ヲ拜ス我ハ清淨ナル全世界ノ善良ナル男女ヲ
稱讚ス我ハ健康ヲ載セ來ス所ノ金色ニシテ温
度ヲ保テル幹ヲ有スル「ハラマ」ヲ稱讚ス我ハ斑
點無クシテ光澤アル所ノ颯風ヨリモ疾ク走ル
所ノ駟馬ニ駕シタル黑暗世界ヲ保護スル「スラ

水
三十三
千

オシヤ^レヲ稱讚ス(以上(ゾーロストルノ文)次ニ引
ク所ハアベスタ中尤モ古キ部分ナルガタスノ
文ナリ曰ク思想ノ美ニシテ文藻ノ麗ク作用ノ
好善ナルザラトストラニ白ス我ハ手ヲ舉ケテ
我ノ祈ル所ニ由テ神聖ニシテ精神ノ清廉ナル
業ノ幸樂ヲ願フ○善行ヲ行フ性質及ヒ身體ト
精神ノ二個ノ世界ニ向テ清淨ナル賜賚ヲ願フ
○我ハ我魂神ヲ以テ天ニ委子タリ我ハ我カノ
竭ルマテハ清廉ヲ誨ユヘシ○我ハ永ク清廉ト
善心ノ保有スル^ルオ^ラマ^スダ^ニ白ス請ラクハ

オ^ラマ^スダ^ノ身ニ因テ我ヲ誨ヘラレヨ此世
界ノ始メテ成立セル所ノオ^ラマ^スダ^ノ口ニ
由テ天ヨリ我ニ誨ヘヨ我ハ我精神ヲ以テ稱讚
スヘキ者ハオ^ラマ^スダ^ヲ以テ第一ナリト以
謂ヘリ吁オ^ラマ^スダ^ハ創造者ナリ世界ノ神
ナリ善業ノ神ナリ清廉無垢ナル想像ヲ成シタ
ル所ノ神ナリ廣大ナル知能ヲ以テ人ノ最モ善
良ナル精神ヲ助クル所ノ神ナリ○我ハ家畜ヲ
造リ水及ヒ美ナル樹木ヲ照耀スル光リ及ヒ世
界其他萬般ノ好善ナル物ヲ造リタル^ルオ^ラマ

水
意
卷下
三四
河津氏藏版

スダニ許願ス我ハ清廉ナル女子ト男子ノ「フラ
ビシ」(精神)及ヒ美好ナル物清潔ナル物不死ナル
物ノ「フラビシ」ヲ稱讚ス○我ハ善良ナル精神ト
美ナル王國ト善良ナル法律及ヒ萬般ノ好善ナ
ル物ヲ尊敬ス茲ニ我輩ハ牛體ト其魂トヲ稱讚
シ我輩ノ精神ヲ稱讚シ我輩ノ性命ヲ保存スル
所ノ家畜ノ精神ヲ稱讚シ賢男貞婦ノ精神ヲ稱
讚シ水ノ流注スル所ヲ尊信シ道路ノ相岐スル
所ト相合スル所トヲ稱讚ス水源タル所ノ山峯
ヲ稱讚シ「オリラマスダ」ノ造出セシ猛風ヲ稱讚

シ死ヲ驅リ遠サケテ生ヲ増殖スル所ノ「ハオマ」
ヲ稱讚ス○今我カ為メニ耳ヲ傾ケテ諦カニ聽
ケ知識ノ一ハ已ニ萬物ヲ造レリ惡道ハ既ニ世
界ヲ毀タサルヘシ○世界ノ始ニ於テ二個ノ天
ノ物ハ相語レリ其善キ物ハ惡キ物ニ向テ謂ラ
ク我々ノ精神教育言語事業ハ協和セスト○「オ
ーラマスダ」ノ心ヲハ我如何シテ満足セシムル
ヲ得ン我ハ甚微少ナル富ヲ有スル者ナリ如何
シテ我ハ我カ望ミノ如ク「オリラマスダ」ヲ稱讚
シ得ルヤ我ハ「オリラマスダ」ノ欲望スル所ヲ滿

火教大意 卷下 三五 二河津大藏版

足スヘキヤ否ヤ是我カ智慧ト我精神ノ決斷スル所ナリ次ニ引ク所ノ文ハ「ゴルダアベスタ」ヨリ抜抄セシ者ナリ曰ク「○人ニ與ルコトヲ司ル神人ニ許スコトヲ司ル神愛ニ富ム神ナル」オルマツツノ名ヲ稱讃ス其者ハ恒ネニ天ニ於テ最モ大ニシテ常不變ナリ此神ハ他ノ者ノ爲ス能ハサル所ノ勢カヲ有スル大主宰ニシテ大智大カアル造物者ナリ保護者ナリ防禦者ナリスベテノ事業ノ成効者ト鑒視者ト清廉ニシテ方正ナル者トニ向テ我ハ我スベテノカヲ以テ感謝

ス萬有中尤モ大ナル諸物ヲ造々化々スル所ノ神時日、能力、智慧、六ノ「アシヤスパンズ」日月、水、火、地、草木、家畜、礦石、人類等壯偉ナル者ニ向テ謝ス我ハ犧牲ヲ捧ケテ其神ヲ稱讃ス其者ハ善事ヲ充全スル者人ヲシテ萬物ノ長タラシメタル者言語ヲ賜與シテ萬物ノ靈トナラシメ以テ「デーハズ」^{「ガ」}ニ同シ^{「ク」}リツト^{「ト」}ニ所謂^{「デ」}バニ對抗セル軍將トナラシメタル所ノ者ニ向テ犧牲ヲ捧ケテ稱讃ス我々ハ神聖ナルゾーロストルニ由テ此世ノ萬物ニ平和ヲ與ヘ法律ノ恩惠ヲ與ヘタル

神ノカヲ稱讃ス其知識ハ天ノ知識ヨリ来リ之
ヲ聽クニ耳ヲ以テシ衆人ヲ誘フテ其先達トナ
リ人間ト天堂トノ間ニ架シタル橋上ヨリ墜落
シタル魂ヲ地獄ヨリ救ヒ出シテ光明馥郁ナル
天堂ニ導ク所ノ知識ヲ稱讃シ感謝ス

譯者曰ク此種類ノ歌頌太タ多シ其中ニハ
星ヲ稱讃スル詩アリ懺悔ヲ陳フル歌等ア
リト雖トモ其頗ル煩冗ニ涉ルヲ憚リ今ハ
之ヲ略ス

此ヲ以テ之ヲ觀ルニアベスタハ宗意ヲ説ク書

ニハ非ス唯神ヲ拜スル時ノ歌頌ナリ白俗カ自
宅ニ在テ私ニ讀ムモ可ナリ又僧侶カ人ヲ聚メ
テ公ケニ諷誦スルモ可ナル書ナリ如此書ハ當
時ノ宗旨ニ就テ其思想ヲ考覈スル爲ニハ最モ
好キ助ケトナルヘキ者ナリ人ノ信仰心ヲ見ル
ニハ如此ノ歌頌集ヲ以テ最モ好キ助ケト爲ス
ヘキ者ナリ何トナレハ歌頌ハ理ヲ顯ス所ノ議
論ニ非スシテ中心ヨリ来ル所ノ語ナルヲ以テ
ナリ如此知識思想ノ趣向ヨリ生シタル者ニ非
スシテ眞實ノ心情ヲ吐露スル者タリ如此書ハ

此教大意 卷下 三十七 千河岸氏藏版

決シテ贋作ニハ非ス何トナレハ歌頌等ハ人ノ
偽造スヘキ者ニ非ス假令之ヲ偽造スルトモ決
シテ廣ク世ニ行レサル者ナリ「アベスタハ」ベン
ゲタツト(今存セル者二十二章)「ヒスペレット」(今
存スル者二十七章)「ヤスナ」(現存ノ者七十章)トヲ
合セテ一篇トス「ゴルトアベスタ」即チ小「アベス
タ」ハ「ヤシト」ハテツト其他白俗ノ祈願ノ詩ヲ編
輯シタル者ナリスピーゲルノ考案ニ由吉ハ此
中「ヤスナ」ノ「ガタス」ハ最モ古キ者ニシテ「ベンゲ
ダツト」之ニ「亞ギヤスナ」ノ始メノ部分ト「コルド

アベスタ」トハ亦之ニ「亞」ク者ナリトス
第七章

「ハンデベツ」シノ時代ニ火教ノ成備セシ事
ハンデベツトト題セル書ハ上ニ列叙スル所ノ
書ヨリハ後チニ成レル書ナリ然ルト雖トモ其
書ニ載スル所ハ遙カニ上古ニ溯リテ記シタル
者ナリ近来此書ヲ翻譯セルウレヂスチマン氏
謂ヘルコトアリ曰ク「ハンデ」ハ「ツ」シノ書ニ就テ
沉潜反覆其旨趣ヲ玩索シテ此書ヨリ前ニ成リ
タル書ト比較シ来レハ未タ此書ヲ信セサリシ

人モ大ニ此書ノ偽造ニ非ルコトヲ信スルニ至ルヘシ我見ル所ニ據レハ此書ノ記者ハ古書ニ據テ古昔ノ宗意ヲ記シタル者ナリ故ニ愈々此書ヲ研覈スルトキハ其愈々偽撰ノ書ニ非ルヲ信スヘキヲ知ラント

次下ニ火教ノ事ヲ記スル部分多クハ「パンテベツシ」及ヒ後世ノ書ヨリ拔萃シタル者ナリ又「ロド」書ヨリ採リタルモアリ我竊ニ以爲ク「ゾーロストル」ノ時代ニハ未タ宗旨ニ如此文飾ハ無カリシ者ナルヘシ何ントナレバ「アベスタ」中最

モ古キ部分ノ篇ニ於テハ唯宗旨ノ種因ノミアリ所謂「ベンケタツト」火教ノ經典中最ノ本文ニ於テハ唯無始無終ノ神即チ「セラナアケラナ」カ「ホルマツツト」ア「リマン」トヲ造出シタル者ナリト云意味ヲ含ミタリト雖トモ世人ハ嘗テ「アベスタ」ニ於テ「セラナアケラナ」ノ宗意果シテ之アリヤ否ヤヲ疑ヘリ
元始ノ時無始無終ノ神「セラナアケラナ」カニツノ大ナル神ヲ造クレリ其一ヲ「オーラマスタ」即チ光明ノ王ト名ケ其一ヲ「ア」リマン「即チ黒

闇ノ王ト名ク「オーラマスダ」ハ光耀ナル世界ニ
住シ「アトリマン」ハ無限ノ黒闇國ニ在テ互ニ相
抗爭スルノ端ヲ發ケリ之ニ依テ「セラナアケラ
ナ」ハ「アトリマン」ノ作爲セル惡害ヲ撲滅センカ
爲ニ「オルマツツ」即チ「オリラマ」ヲシテ此世界ヲ
創造セシメ且ツ其壽命ヲ一萬二千歳ト定メタ
リ而シテ其歲月ヲ四分シ三千年ヲ以テ一期ト
シタリ初メ「セラナアケラナ」ノ詔勅ヲ以テ豫定
シタル所ニ據レハ其一期ニハ「オルマツツ」カ獨
リ其威權ヲ專ニスルコトヲ得第二期ニ於テハ

「アトリマン」ハ僅ニ其力ヲ伸ルコトヲ得ヘシト
雖トモ未タ恣ニ其惡ヲ逞フスルヲ得ス第三期
ニ及テハ「オルマツツ」ト「アトリマン」ノ二神カ對
等ノ權カヲ得第四期ニ至テハ「オルマツツ」ヲシ
テ全勝ヲ得セシムベシト
茲ニ於テ「オルマツツ」ハ先ツ「プリウルス」ト云ヘ
ル物ヲ造リ以テ世界創造ノ事業ニ著手シタリ
之ヲ以テ創造セラレタル所ノ一切萬物ハ悉ク
皆「プリウルス」ヲ有セサルハ無シ此「プリウルス」
トハ即チ萬物各自ニ存在スル基トナル物ヲ云

火教大意 卷下 四 千河津氏藏版

フナリ
オルマツツト雖トモゼラナアケラナニ對シテ
ハ亦親ラフリウルスヲ有セリ去レハ此有形ノ
世界ノ未タ創造セラレスシテ混沌未剖ノ時ニ
ハ無形ノ世界アリ今ノ有形ノ世界ハ取モ直サ
ス無形ノ世界ニ形容ヲ與ヘタル者ナルノミオ
ルマツツハ始ノ圓蓋形ノ天ト基礎タル地トヲ
作り而シテ其地上ニハアルボルジ(今「エルブル
」)山ト云フ)ノ高山ヲ造リタリ其山ノ絶巔ハ
天一接ス「オルマツツ」ハ此山頂ヲ以テ己レカ住

在スル所ト定メタリアルボルジノ山頂ト天ノ
ゴロドマン^ト名クル所トノ中間ニ「シ子バツト」
ト名クル橋ヲ架シタリ「ゴロドマン」ハ即チ天惠
ヲ受ケタル者ノ住スル處ニシテ「シ子バツト」橋
ハ「ドサカト」名クル深キ谿壑ニ跨テ架シタル橋
ナリ「トサカ」谿ハ地底ニ在テ即チ「アールリマン」ノ
住所ナリ「義手」^{「オルマツツ」}ハ第一期ノ三千年ヲ
閱歷シテ後ニハ「アールリマン」ト戰フヘキコトヲ
前知セシカ故ニ豫メ兵器ヲ整頓シ兵士ヲ部署
シ大陽、大陰、恒星、惑星等ノ光耀ナル物ヲ造テ己

水鏡水鏡
卷下
四十一
千河洋大藏版

レカ軍將ト爲セリ中ニ於テ第一トスベキハ最
モ勇猛ニシテ最モ能ク奔馳シ永ク老死セサル
所ノ大陽是ナリ故ニ此大陽ヲ封シテ有形世界
ノ王トシ此大陽ヲシテ朝夕ニアルボルジノ山
ヨリ出テ、天ノ最高ナル線路ヲ經過シ一週シ
テ夕ヘニ及ンテ前ノ所ニ歸ラシム次ニ「オルマ
ツツ」ハ大陰ヲ造レリ是ハ自ラ其光リヲ以テア
ルボルジノ山ヲ出テ、地ノ低キ部分ヲ回旋ス次
ニ五個ノ惑星及ヒ諸ノ恒星ヲ作レリ是等ハ天
ノ最モ低キ線路ヲ旋クル故ニ天地ノ間ヲ三分

シテ日道月道星道トス衆多ノ星宿ハ「ア」リマ
ント戦フ為ノ兵士ナリ之ヲ四大隊ニ分テ隊毎
ニ將アリ十二ノ小隊ハ十二宮ニ陣營ヲ布キ前
ノ四個ノ大隊ハ東西南北ニ分屯セリ先ツ木星
ハ東方ヲ守衛シテ星ノ侯伯ト名ケ土星ハ西方
ヲ守衛シ水星ハ南方火星ハ北方ヲ守リ天ノ中
心ニハ金星アリ而シテ「オルマツツ」自ラ之カ元
帥トナリテ「ア」リマンニ抗對ス「ユ」ラ「星」ハ天
ノ守衛トシテ「子」バツト「橋」ヲ警衛シテ「ア」リ
マン「ガ」ド「サ」カノ「谿」頭ニ出来ルノ不虞ニ備フ「オ

ルマツヅハ天ニ於テ此等ノ準備全ク齊整シタ
リシ時ハ早既ニ第一期ノ終ニ垂ントスルニ至
レリアーリマン^レハ其黑暗界裡ニ在テオルマツ
ヅ^レノ所爲ヲ知見シ其光輝アル所ノ創造ニ敵抗
スル爲メニ黒闇ナル世界ヲ造レリ其創造タル
渾テ光輝アル物ト比對スレハ其勢力ト數量ト
ハ相均シカリキオルマツヅ^レハアーリマン^レカ衆
多ノ艱苦ヲ生スルノ原因ヲ爲ルコトヲ知り且
ツ彼ト戦ハ、必ス勝利ヲ得ヘキヲ知リタリト
雖トモ先ツアーリマン^レト和ヲ講セント以謂ヘ

リ然ルニアーリマン^レ亦專ラ戦ハンコトヲ望ミ
タリシカオルマツヅ^レノ威嚴ト神聖ナル人ノ淨
潔ナルフリウルス^レ出^ツ解^前ニヲ懼レテ黒闇ナル谿
底ニ潜伏シテ第二期ヲ空過シケリオルマツヅ^レ
ハ猶モ其間ニ地ノ創造ヲ充備セリ地ハ渾テ生
活物ノ母タルヲ以テサパンドマツト^レヲ以テ地
ノ守護神トシタリ又ゴルダツド^レニ命シテアル
ボルジ山ナルアンヂユイスルノ泉源ヨリ流出
スル水ノ守護神トシ兼ネテ年月日四時ノ頭領
トス惑星タル^レチスツリヤ^レ(即チ水星)ニハ土星ノ

助ケテ假リテ水ヲ蒸氣トナシ之ヲ凝集シテ雲トシ而後之ヲ雨トシテ地ニ降スコトヲ司ラシム此雨ノ神ハ大ニ尊敬セララル、神ナリ又「アメルダツト」ヲシテ植物ノ守護ヲ掌ラシム然リト雖トモ大ナル「ミスラ」ハ有機世界ノ繁殖ヲ司ル所ノ神ニシテ其職掌ハ「フリウルス」ヲ以テ有機物ノ體中ニ導ク事ナリ

「オルマツヅ」ノ光明世界ニ於テハ地上ニ在ル物ニハ都テ其守護神アリ其守護神ヲ隊伍ニ分チ各々其長ト補助即チ偏裨アリ七個ノ「アンシヤ

ス。パンズ」ハ其等ノ長ヲ統宰ス「オルマツヅ」ハ其七個中ノ長タル者ナリ他ノ六個各分轄スル所アリ即チ「バerman」ハ天ノ王ナリ「アルチベヘシ」トハ火ノ王ナリ「スカリブル」ハ金ノ王ナリ「ゴルダツト」ハ水ノ王ナリ「サパン」トマツド」ハ地ノ女王ナリ「アメルダツト」ハ植物ノ王ナリ如此準備ノ整肅スル際ダニ早ク既ニ第三期モ終リタリ又此二期ノ間ニ「オルマツヅ」ハ初メテ牡牛ヲ作クレリ是ハ活動物ノ模型ニシテ渾テ活動物ノ種子ヲハ此中ニ放在セリ「オルマツヅ」ハ如此自

家ノ光明世界ヲ結構シ經綸スル時ニ當テ「ア
リマン」モ亦其黑闇ナル谿ニ於テ之ニ准シタル
製造ヲ爲シ「オルマツツ」カ一ノ善良物ヲ作クル
トキハ「ア」リマン「モ」亦一個ノ毒害物ヲ造レリ
「ア」リマン「ハ」七個ノ將ヲ置キテ各自ノ隊伍ヲ
統轄セシム其將ヲ「デーバス」ト名ク即チ「オルマ
ツツ」カ七個ノ長ナル「アン」シヤス「パンズ」ニ應シ
タルナリ此大ナル戰備ノ整フニ及ンテ第二期
ハ「殆」ト終リニ垂ントスルカ故ニ一人ノ將即チ
「デーバス」カ「ア」リマン「ニ」勸メテ軍ヲ起サシメ

タリ「ア」リマン「ハ」其軍隊ヲ部署スル時ニ善人
ノ「フ」リウルス「ニ」對抗スヘキ物無カリシヲ以テ
軍氣沮喪シテ戰ヲ出スニ由ナク再ヒ暗處ニ潛
伏セリ終ニ第二期ヲ經タルニ及ヒ「ア」リマン「
漸ク時機ニ會フヲ見テ聊モ畏憚スルノ念ナク
天ニ向テ上昇セシカハ其軍隊亦追躡シテ起シ
カトモ天ニ登リ得タル者ハ唯「ア」リマン「ノ」ミ
ニテ他ハミナ遺サレタリ之ニ由テ「ア」リマン「
ハ」危懼ヲ生シ止ムヲ得ス蛇ト化シテ天ヨリ降
リテ地ノ中心ニ入り且ツ「オルマツツ」ノ神體夕

ル火中ニマテ侵入シ煙ト蒸氣トヲ以テ火ヲ黷
 セリ其後ニ及テアールリマンハ天ヲ襲撃ス此時
 星ノ一部分ハ煙ト霞トニ掩蔽セラレテアール
 マンノ掌握ニ歸シタリ茲ニ於テオルマツヅハ
 神聖ナル人ノブリウルスノ援ケニ由テアール
 マンヲ逆撃シ頗ル苦戦ナリシカ九十日夜ノ闘
 争ノ後アールリマンノ軍悉ク潰敗シテミナリユ
 ガツクノ谿中ニ驅リ入レラレタリ然レトモア
 ールリマンハ猶此處ニ止ラサリキ何トナレハ彼
 ハ其從卒ノ爲ニ地中ヲ通過シテ甯道ヲ造リオ

ルマツヅト同ク地上ニ住スルカ故ナリ然ルニ
 此事ハ固ト無始無終ノ神セラナアケラナノ豫
 定セシ事ナリ去レハアールリマンカ此世界ニ於
 テ醸出セル所ノ害惡ハ太夕畏懼スヘキ者ナリ
 然ルニ彼カ愈々惡害ヲ逞フセント欲スルニ從
 テ識ラス知ラスセラナアケラナノ豫定セル圖
 謀ニ的合シテ愈々善事ノ長生ヲ促シタリ何ト
 ナレハアールリマンハ彼牡牛ノ胎中ニ入テ遂ニ
 之ヲ殺シタリシカ其牡牛ノ死シタルトキニ人
 類ノ初祖タルカイラマルツハ其尸ノ右肩ヨリ

出テ牛ノ精神ナル「ゴンユラン」ハ左肩ヨリ出テ
 テ動物ノ守護トナリケリ又其牛骸ヨリ多クノ
 動物植物ノ類ヲ出セリ「アールリマン」ハ之ヲ視テ
 大ニ憤怒シ淨潔ナル動物一個毎ニ抗對スル不
 淨ノ動物一個ヲ造出セリ如此ナルヲ以テ「オル
 マツツ」カ犬ヲ造ルトキハ之ニ反シテ豺狼ヲ造
 リ「オルマツツ」カ渾テ人間ノ便益ニ供スル獸畜
 草木ヲ造レハ「アールリマン」ハ之ニ反シタル毒害
 ノ動植物ヲ作レリ然リト雖トモ人類ノ初祖タ
 ルカイヲルツニ對抗スヘキ者ノミハ造リ出ス

コトヲ得サリシカ故ニ「アールリマン」ハカイヲル
 ツヲ殺サント決心シタリ此カイヲマルツハ男
 女合性ノ人ナリシカ其死シタル時ニ當テ胎中
 ヨリ忽焉トシテ一對ノ男女ヲ生シタリ亦其屍
 ヨリ生シタル樹木アリ次第ニ繁茂シテ花開キ
 實ヲ結ヒシカ其菓中ヨリ十對ノ男女ヲ出セリ
 初メノ一對ヲメスチヤ男メスチアン女ト名ケ
 タリ是等ノ男女ハ本来罪惡無ク自ラ己レカ造
 物者ナルコトヲ知テ「オルマツツ」ヲ禮拜シタリ
 然ルニ「アールリマン」ハ姦謀ヲ以テメスチヤメス

チアンヲ欺騙シ之ヲシテ飲マシムルニ羊酪ヲ
以テシ而シテ彼等ヲシテ自ラ害ヲ被ラシメタ
リ又アールリマンンハ菓物ヲ齋シ来テ彼男女ヲシ
テ噉ハシメタリ此罪惡ヲ犯セシヲ以テノ故ニ
全分ノ幸福ヲ滅殺セラレテ僅カニ百分一ノ幸
福ヲ保有スルコトハナリ又而後メスチアン
ハ初メテ「チーバス」魔ヲ拜シタリ五十年ノ後ニ
於テメスチヤメスチアンノ一男一女ノ中ニレ
ヤマツクベスチツクノ二人ノ子ヲ生ミ百歳ニ
シテ死セリ而シテ彼等ハ死後其罪惡ノ為メニ

地獄ノ苦痛ヲ受ケ一般ノ人類ハ其初祖タル男
女即チ父母ノ罪惡ニ由テ今ノ如キ賤劣ナル者
トハナリタレトモ亦靈妙ノ智識ヲ具有スル者
トス抑人ハ光明ト黒闇トノ二種ノ世界ノ中間
ニ立テ自家ノ思想ニ依テ種々ノ行ヒヲ爲スコ
トヲ得ル者ナリ去レハ人ハ原トルマツツノ
造リタル物ナルカ故ニ人タル者ハ宜ク「オルマ
ツ」ヲ恭敬尊奉シテ恒ネニ其神意ヲ體シ以テ
惡事ト戦ハサルヘカラス然ルニ「アールリマン」ト
チーバスカ日夜「オルマツツ」ヲ圍遠シテ其正道

地獄ノ苦痛
卷下
四十八
正河

ヲ行クトキハ邪路旁徑ニ導キ光明ナル心ヲ昏
マシテ黑闇ナル境域ニ伴ハンコトヲ試ミテ休
マス加之人ハ初祖一對ノ男女カ欺騙セラレタ
ル所ノ迷心ニ克ツコト能ハサル者多シ「ホルマ
ツ」ハ如此景情ヲ憐愍シテ「ゾーロストル」ヲシ
テ天ノ規律ヲ明示シタリ人苟モ此規律ニ従ハ
バ直チニ「ホルマツ」ノ擁護ヲ受ルヲ以テ「ヂー
バス」モ亦害ヲ加フルニ由ナシ先ツ其規律ノ精
神ハ其心思ヲ淨潔ニシ其言語ヲ淨潔ニスルニ
在リ何ントナレハ「渾テ「ホルマツ」ニ出タル者

ハ淨潔ニシテ「ア」リマシヨリ来レル者ハ不潔
ナリ身體ノ淨潔ナルハ德行ノ皓潔ナルニ同シ
トス故ニ身體ヲ清潔ニスルコトニ就テハ衆多
ノ教規アリ剋實シテ云ハハ神ヲ拜スルコトニ
就テハ此事ヲ説ク者多シ
初メ「ホルマツ」ノ造リタル人類ノ「ラバシス」
前ニ「ブリカス」ハ天ニ在ル所ノ「ホルマツ」ノ
ト云フニ同シ
光明世界ニ於テ保持セララル然リト雖トモ彼「ラ
バシス」人ノ身體ト抱合スルカ爲ニ天ヨリ降
テ人世ヲ試ムル所ノ道ニ趣向セサルヘカラス

去レハ此道ヲ二個ノ運命ノ道トハ名ケタリ此
 人世ニ在テ善事ヲ簡ヒテ行ヒタル者ハ死シテ
 後善神ニ導カレヌラ（神犬）ノ警衛スル所ト為リ
 シ子バツトノ橋ニ至ル惡事ヲ為セル者ハ「チー
バス」ニ拘引セラレテ「レ子バツト」橋ニ達スルト
 キ「オルマツツ」カ審署ヲ設ケテ精靈ノ往ク所ヲ
 裁斷シ其善者ヲシテ橋ヲ經テ恩惠ノ家ニ赴キ
「アムシヤスバン」スノ懇篤ナル接持ヲ蒙リ惡者
「ハレユサツク」ノ谿ニ墮落シテ「ダーバス」ノ爲ニ
 苦惱ヲ受クルノ時限ハ「オルマツツ」ノ定メタル

所ニ由ルト雖トモ或ハ其惡人ノ親友ノ祈禱ト
 願請トニ由テ早ク救ハル、ヲ得多クハ死者ノ
 盡ク蘊生スル時ニ至ルマテ留住ス「アトリマン」
 ハ三千年間人世ニ向テ大ナル勢力ヲ振ヒシ後
 ニ自ラ其局ヲ結ヒ其七個ノ惑星ニ抵敵スル爲
 メニ作りタル七個ノ水星アリ此星ハ萬物ヲシ
 テ危殆ナラシメ人ヲ恐赫シツ、天ヲ旋クル然
 リト雖「モオルマツツ」ハ是等ヲ制馭スル為ニ
 第四期ノマサニ終ントスルニ臨ムテ無始無終
 ノ神無極ノ神ナル「セラナアケラナ」ノ命ニ由テ

水星中ノ一個ハ其衛星タル所ノ大陰ト分離シ
テ此世界ニ衝突シ一大火災ヲ起スニ至ルマテ
ハ此等ノ七個ノ水星ヲシテ七個ノ惑星ノ管轄
ヲ受ケレメタリ然ルニ「オルマツジ」ハ此ヨリ前
キ豫言者ゾシヨツクヲシテ此世ニ誕生セシメ
勉メテ人ヲ善道ニ導キ以テ一般ノ精靈ヲシテ
蘊生セシムヘシ其精靈悉ク蘊生スルノ期ニ及
ヘハ「オルマツジ」ハ新鮮ナル肉ヲ以テ人ノ枯骨
ヲ掩ヒ其親戚朋友ヲシテ互ニ再ヒ相見ルヲ得
セシム然ル後罪障深キ者ト善良方正ナル者ト

ヲ大ニ區分スルノ期ニ至ル彼「ア」リマシカ己
ノ殘暴悖戾ナル心ヲ悦ハシムル爲ニ地上ニ水
星ヲ墮ストキニ却テ自家ノ意ニ及シタル結果
ヲ收メテ實ハ無極ノ神「セラ」ナアケラナノ命令
ニ從フ如キ者ナリ何トナレハ此水星ニ由テ生
シタル所ノ火災ニ由テ全地球ハ溶解シタル熱
鐵ノ如キ物トナリテ已レカ住所ナル黑闇界裡
ニ流注スヘキカ故ナリ此時ニ於テ萬種ノ動物
ハ必ス此鎔湯ノ中ヲ來往セサルヲ得ス然ルニ
善者ニハ溫暖ナル乳ノ如キ感觸ヲ爲シテ徐々

其善者ノ住所ニ達スルコトヲ得ヘシ然ルニ罪
惡深キ者ハ此世界ノ鎔解シテ奔流スルカ爲ニ
没溺漂流シテジユサツクノ谿ニ至ル此ニ於テ
惡人等ハ三晝夜間其身ヲ焚焦セラレ身體全ク
淨潔ニナリ而シテ「オルマツツ」ニ祈請シテ天ニ
上昇スルコトヲ得ルナリ其後「ア—リマシ」及ヒ
「ジユサツク」モ此火ニ由テ清潔トナリ了リ一切
ノ惡事悉ク銷燼シテ一切ノ暗黒ナルコトハ全
ク其跡ヲ絶ツニ至ル此火ノ銷滅シタルトキニ
於テ最モ光澤ニシテ淨潔ナル地ヲ生シテ未來

永ク存在ス

「バン」デヘツシ「レ」ノ宗教ハ上來演フル所ノ如クナ
ル者ナリ然ルニ是ハ「ゾーロストル」ノ發明スル
所ニモ非ス亦其他ノ人ノ發見セシ者ニモ非ス
渾テ宗教ハ人ノ發明ニ由テ成立スルニ非スシ
テ自然ニ顯現スル者ナリ馬哈默ノ教スラ猶其
ヨリ先キニ人ノ信セシ事ヲ以テ根據トセル者
ナリ況ヤ其他ヲヤ故ニ宗教ノ肇祖タル者ハ其
教ヲ發明セル者ニハ非ス唯自然生ノ宗教ニ形
容ヲ與ヘタル者ナル而已恰モ一教ノ肇祖タル

人ノ深遠ナル思想ノ周圍ニ於テ既ニ世人ノ信
仰セル事カ凝集シ結晶シテ一ノ宗教ヲ形成ス
ル者ナリト謂フヘシ去レハゾーロストルハ其
時代ニ當テ衆人ノ思想ヲ導キ以テ自然ノ宗教
ニ向テ大ナル勢力ヲ與ヘタリ其自然ノ宗教ニ
名ヲ命シテ之ヲ天ニ安置シタリ然則ゾーロス
トルハ既ニ存在セル事狀ヲ明瞭ニ説明シ且ツ
之ヲ組織シ之ニ加フルニ道義ノ誨ト活動ノ勢
カトヲ以テセシ人ナリト謂フベシ

第八章

セントアベスタノ宗旨ト吠陀ノ宗旨トノ
關係

吠陀ノ宗旨トアベスタノ宗旨トハ之ヨリ先キ
ニ在リタルアリヤノ宗教ヨリ生出シ其中心
ニ於テハ共ニ一神教ナリト雖トモ自然力中ニ
神カヲ埋没スル譯者曰神カト自然ノ勢カト同
等ナル者ト看做スノ見アルヲ
云コトハヒクテツト及ヒ其他ノ學士ノ研覈ス
ル所ニ由テ明瞭ニ知ルコトヲ得ヘシ去レハア
リヤン人種ノ上古ノ宗教ハ早二種ニ別離シテ
各々其方嚮ヲ殊ニセリ即チ其一ハ吠陀ニシテ

其一ハ「アベスタ」ナリ然リト雖トモ二宗各同様ナルコトアリ例セハ「インドラ」神ノ「スラ」上「ナオ」同「イツヤ」上等ノ名ハ二宗共ニ之ヲ用ユ吠陀ニ於テハ彼等ハ皆神ノ名トシ「アベスタ」ニ於テハ「惡魔」ノ名トスインドラ「ハリグウエダ」ニテハ最モ尊高ナル神ノ一ナリトシテ之ヲ祈念ス然ルニ「アベスタ」ニ於テハ「惡魔」ノ如クニ見做セリ修羅ハ「シハ」ノ舊名ナリ之ヲ「アベスタ」ニテハ「ヂーバ」或ハ「ジュ」ト稱シテ「惡魔」トシ「ナオガイツキ」モ亦之ヲ「惡魔」トス即チ「吠陀」ノ「ナサチヤ」ニシテ

「ド」暗ト「ン」譯スノ前ニ出テ来タル「孿子」ノ一個ノ名ナリ「ジュ」ユ「ス」或ハ「ヂーバ」スハ「アベスタ」ニ於テハ「惡魔」トスレトモ「吠陀」ニテハ神トス之ニ反シテ「アヒユラマ」スダハ「アベスタ」ノ神ノ名ニシテ「アシユラマ」スダハ「吠陀」ノ魔ノ名ナリ「メニユ」ノ方ニ於テハ此人種ノ原ト起リタル處ヲアリ「アベスタ」ト名ク「アヘスタ」ニ於テハ「アリヤ」ナワ「イジヨウト」名ク「大陽」ハ兩宗共ニ「ミスラ」或ハ「ミトラ」ト名ク「火教」ノ「閻魔」ハ幸福ナル王ナリ「ヒンド」吠陀教「印度教」ノ「閻魔」ハ幽冥ヲ主宰スル所ノ

威嚴ナル裁判官ナリ印度宗ニ於テ大ヲ以テ憎ムヘキ獸類トレゾーロストルノ宗旨ニテハ尊敬スヘキ動物トス兩宗アバスタト共ニ人ノ尸骸ニ觸ル、トキハ穢カル、コト、レテ之ヲ懼レマタ兩宗共ニ火ヲ神ナリトシテ尊重ス然ルニ最モ著ク兩宗ノ云フ所ノ相似タルコトハ梵語ニテゾーマト名ケゼント語ニテホーマト稱スルハアスクレピヤスアレダト名クル草ヨリ取タル者ニレテ人ヲ醉ハシムル氣ヲ有セル露ヲ拜スルコトナリホーマトゾーマト同キコト

ハ既ニ證徴アル者ナリサマアベスタハ全篇此草ヲ拜スルコトヲ記セリ又アベスタノ最モ緊要ナル部ハ此ホーマトヲ祝スル所ノ歌頌ナリ去レハ如此人ヲレテ醉ハシムル所ノ氣アル草ヲ兩宗共ニ尊敬スルヲ以テ見レハ未タ嘗テ酒ヲ知ラサル國ヨリ來レル教ナルコトヲ知ルニ足レリ蓋シ未タ酒アルヲ知ラサル人民ハ酩酊ヲ以テ頗ル奇異尊重ノ想ヲナシ殆ント神ノ恩賚ナリト感戴セシナルヘシ是ヲ以テ聰明健康強勇長壽戰ニ勝利ヲ得ル丈夫ヲ生スル等渾テ

草ヨリ出ルカ如ク思做セリ希臘人ノ所謂バコ
スハ最モ古キアリヤシ人ノホリマ^レ或ハゾ^レマ^レ
トハ同物異名ナリ故ニ此ニ宗教ハ同所ヨリ出
テ、同ク其口碑ニ傳ヘタル事ニ遵循シテ遂ニ
彼レノ神トスル所ハ我レノ惡魔ナリト云テ互
ニ爭競シ氷炭相容レサルニ至レル者ナリ印度
人ハ波斯ノ^レジユアリスム^ノ善惡黑白等ニツテ憎
惡シゾ^レロストルノ宗徒ハ吠陀宗ニ道德ノ教
無キコトヲ賤惡シタリ印度ノ宗旨ハ夢想ノ宗
教ナリ波斯人ノ宗旨ハ戰鬪ノ宗教ナリ恰モ耶

蘇宗ノクエツケル派ト^レガルビニス派トノ如シ
宜矣哉其互ニ相協ハサルヤ

第九章

ゼント、アベスタ^ハ一神教カ將タ純然タル
レユアリスム^{ナル}乎
我輩ハアベスタ^ノ最モ古キ部分ニ於テ既ニ其
ハンデヘツ^レシテ後チニ整齊セル宗理ヲ形
成セシメタル所ノ萌芽アルヲ見ルベシリダツ
ト^レアベスタ^ノニ所謂^レセラナアケラナ^ハ即チ無
極ノ時無限ノ時ニ於テア^リリマ^ンヲ造リタル

者ナリス。ピーケルハ「オルマツツト」ア「リーリマン」ノ上ニ此一個ノ尊貴ナル者即チ無始無終ノ神ナル。ゼラナアケラナヲ置クコトハ本来ノ波斯ノ宗意ニ非スシテ「セミチツキ」ノ源ヨリ假リ用ヒタル者ナリト云果シテ然ラハ「オルマツツ」ハ最尊無上ナル者ニシテ他ノ此神ヲ造リタル者アルコトナク萬物ノ創造者タルベシ然ラハ則チ「オルマツツ」ハ「フリウルス」ヲ有スヘキノ理アルコトナシ又「オルマツツ」ハ親カラ「ア「リーリマン」ヲ造リタルカ或ハ「ア「リーリマン」ハ「オルマツツ」ト

同ク無始無終ナル者ナリヤ若シ「ア「リーリマン」モ無始無終ノ者トセハ即チ純然タル「ジユアリス」ムナリ故ニ善惡ノ二カノ背後ニ於テ善惡ヨリ前キニ存セル一個ノカアリ而シテ之ヨリ善惡ノカヲ起シ後其本ニ歸攝スル者トスルノ説ヲ以テ當ヲ得タリトス又「ベンリタツト」書ノ「バルガルト」名ニ於テ後來ニ降生スル所ノ救世者アリ名ヲ「ソシヨツク」ト云トイヘリ「バルシス」ハ此「ソシヨツク」カ萬物ノ終リニ出テ来テ萬物ヲ蘊ヤシメ災害ナキ幸福ナル世界ト爲ル日ヲ期ス

且ツ其蘊生スル説ハ宗教ノ起原セルヨリ在リ
シ者ナルヤ否ヤハ太夕疑フヘキ者ナリ其他「セ
ントアベスタ」中ニ於テハ一モ三千年ヲ以テ一
期トスル事ニ就テ論セル者ナシ「アベスタ」ニ於
テハ蘊生ノ事ニ干涉シタル文兩三節アリ然リ
ト雖トモ「オルマツ」ト「アールリマン」ノ戦ト「フリ
ウルズ」ト善良ナル神聖世界トノ三條ハアベス
トニ濫觴シテ一教ノ主腦トナリシト見ヘタリ
第十章
火教ト耶蘊教トノ關係

「アベスタ」ノ宗教ヲ以テ他ノ宗教ト對較シ来レ
ハ最モ今ノ耶蘊教ニ近キ者トス此火教ハ其波
斯王國ト共ニ泯滅シテ已ニ許多ノ星霜ヲ經而
シテ馬哈默教ノ爲ニ驅攘セラレタリト雖トモ
其餘香殘影ハ猶ホ人間ニ存在シテ猶太ト耶蘊
トノ二宗ニ寓寄セリ耶蘊教ハ猶太教ニ依テ火
教ヨリ天使ト魔鬼ノ説話ヲ假借セリ此世界ニ
於テ惡事多シトスル者亦火教ヨリ假リ来レル
者ナリ彼少年ト魔鬼ト魂魄ヲ孤注トシテ博戲
ヲ為ス圖「ミチビル」ト「魔」ト戦フ圖「ミルトン」ハ

ラダイロータ^詩名「ゴイス」ノ「ハラス」ノ如キハ即チゾーロストルノ勢力カ猶太ノ宗教ニ及ホシテ耶蘇教カ猶太ヨリ之ヲ假用ヒタルニアラスシハ恐クハ世ニ見サリシナラン猶太教ニ由レハ其人民カ巴比倫ヨリ歸リタル後ニ魔ハ「スピリチユアルビーイング」(精靈)ノ一部ニ屬シ了レリ前ニハ神使タル「インチルス」ト云ヘル者アリキ然トモ之ヨリ先キ魔鬼ハ無カリキ其時マテハ神親ラ世界ヲ管理シテ別ニ敵抗スルカヲ許シタル者ナカリシナリ^{約百紀}ニ於テ所謂撒但ハ

神使ニシテ魔鬼ニハ非ス唯監官ノ如キ職ヲ掌リ以テ恒ニ^{聖者}過チヲ見出スコトヲ務メトスル者ナリシニ猶太人民カ巴比倫ニ囚擄トナリタル後ニ猶太人ノ想像ノ境域自ラ廣マリ魔鬼ハ天使ニモ人民ニモ自由ヲ與フル者トシ善惡並ニ行ハル者ナリトノ考案ヲ起シタリ又此時ニ於テ未来ノ命運ノ事ヲモ想起シ遂ニ蘇生ノ説ヲ發明セリ抑是等ノ教ハゾーロストルノ教ニ根據セシ者ナルコトハ疑フヘクモアラス然リト雖トモ如此火教ト密附ノ關係ヲ有ス

ル前ニ猶太ノ預言者ナル者アリテ後世卓異ナ
ル賢者ノ出テ、其國ヲ恢復スルコトアラント
想像シ善者カ惡人ニ向テ戰鬪ヲ爲ス等ノ説ア
ルニ由テ此火教ト密接スル媒紹ヲ成シタリ左
リナカラ猶太人ハ火教ヲ以テ他ノ宗教ニ比ス
ルニ最モ自己ノ教ニ近キ所アルヲ見出セリ即
ハチ偶像ヲ拜セス見ルヘカラサル者ヲ拜スル
カ如キ是ナリ火教ハ太陽及ヒ火ヲ以テ神ノ現
カトスレトモ神ノ本體ハ得テ見ルヘカラサル
所ニ在リトス猶太人ハ始テ彼ノ國人カ偶像ヲ

禮拜セサルコトヲ見タル後チニ漸クニシテ自
家宗教ノ古代ノ儀式ヲ回復シテ偶像ヲ棄擲ス
ルニ至レリ去レハ猶太人民ハ巴比倫ノ囚ヲ脱
シゾーロストルト摩西トヲシテ手ヲ携ヘテ同
境ニ遊ハシメタル後ニ火教ト猶太教ト接
合シタルコトヲ云偶像
ヲ廢シタリ又火教ト耶蘇教ノ極メテ符合スル
所ハ人ノ生涯ヲ以テ善ト惡トノ戰ナリトスル
ノ點ニ在リ新約全書ヲ讀メハ耶蘇ハ屢々天國
ヲ説キ精神ノ謙遜ナル者ハ恩惠ヲ受クトス何
ントナレハ天國ハ如此人ノ爲ニ設ケラレタル

カ故ニ新約全書ノ語ト云ヒ施洗約翰モ基督モ天國ノ
近キコトヲ明言セリ使徒行傳ニモ天國ヲ以テ
其宗意ノ緊要ナル者トセリ救世主ヲ想像スル
ニ王ニシテ油ヲ灌カレタル耶和華ノ王國ノ主
領ノ如ク見エタリ耶蘇基督ト云モ亦其意ヲ含
ミタル語ナリ耶蘇モ亦其語ヲ認可シテ自ラ基
督ト稱セリ耶蘇カ彼拉多ニ答フル語ニ爾チハ
予ヲ猶太人ノ王ナリト云乎予ハ王タルカ為ニ
此世ニ降誕セリ予ハ事ノ實真ナルヲ證スル者
ナリ等ノ語アリ

古ヨリ信義ノ道ヲ定ムルカ為ニ智慧ト善良ナ
ルコト、共同一致セシコトヲ望ムノ心ハ人ノ
腦裡ニ存セリ過誤ト放恣トハ互ニ分離スル者
ナリ唯善ト真ノミハ共同スルコトヲ得凡ヘテ
世上萬般ノ事理此外ニ出テスシテ共同シ即チ
善ト真ノ強キ者ハ勢カトナリ志望トナル故ニ
ビタゴラス希臘古代ノ賢人ノ學校ブラト同上ノ共和
政治斯巴達ノ共和政治亞細亞歐羅巴ノ教會及
ト近來ノプロテスタント(新教)ノ如キ共同シテ
事ヲ爲スノ志望ヲ起セリ猶太ノ人民ハ始メ此

志望ヲ起シテ共和ノ政體ヲ設立シタリシカ其
國ノ瓦解シタル後チニ救世主ノ來生スル時ヲ
待ツコトハ預言者ノ識語ニ由テ共同ノ志望ヲ
存シタリ人ノ心ニ於テ一ノ大事業ヲ成サント
スル志ヲ抱クトキハ之カ首領トナル者ニ倚賴
セント欲スルノ性質ヲ具ナフ故ニ猶太人民ハ
其主領タル人ノ起ランコトヲ希望シタリ其真
ノ聖王ノ起ルアリテ平和ト信義ヲ施シテ天國
ヲ地上ニ創立セラレンコトヲ望ミタル際ニ當
テ波斯ナル宗教上ヨリ同一ノ志望ヲ取り來レ

リ波斯ノ火教ニテモ人ノ事業ハ善人ト善神ト
共同シテ惡人ト魔ト戰ヒ而シテ天國ヲ造ルコ
トヲ旨トセリ然ルニ其戰ハ甚タ永クシテ且苦
戰ナルヘシト雖トモ終ニ之ニ勝タンコト必矣
トシ火教ノ徒モ亦モソレヨツク火教ノ預言即
チ善惡ノ中保人ノ起ランコトヲ望ミタリ恰モ
猶太人カ救世主ノ生スルコトヲ望ミタルカ如
シ是則チ兩教ノ最モ好ク符合スル所ナリ耶蘓
ノ生レシトキ數人ノ博士カ耶路撒令ニ向テ耶
蘓ヲ拜スル爲ニ來リシト云談話亦此志望アル

ヨリ造出セシ語ナリ耶蘓ハ遂ニ救世主トナリ
テ其望ヲ達シタリ然ルニ其達シタル方法ニ至
テハ猶太ノ預言者カ言ノ如ク猶太ノ王ト爲リ
シニハ非ス一層高尚ナル所ノ天ニ及ホシテ其
真ト價直アル要點トノ志望ヲ達セルナリ原ト
耶蘓宗ノ志望タル決シテ人ノ靈魂ヲ救済スル
カ爲ニハ非スシテ地上ニ於テ王國ヲ再興スル
コトナリシ如此耶蘓ハ猶太ノ宗教ノ精神ヲ養
成シ而シテ真ノ基督トナリテ預言者ノ言ニ準
擬スルニ至レリ今日ニシテ云ハハ耶蘓教亦原

トノ宗意ニ復ルヲ可トスヘシ然則耶蘓宗徒ハ
將來天國ニ生レンコトヲ望ムヨリハ寧ロ此世
界ニ在テ親愛ト至誠トニ由テ王國ヲ建ルトキ
ハ無上ノ美事ナリ嘗テゾーロストルノ教ヘ
タル善ト真トカ惡ニ對抗シテ戰フコトハ今ニ
於テモ猶ホ依然トシテ人世ノ常務トナレリ是
ヲ真ノ耶蘓教ト云モ亦不可ナカラシゾーロス
トルノ古キ教旨ハ恰モ野ニ播セル麥種ノ如ク
枯朽シ了リタリト雖トモ其種因ヨリシテ更ニ
耶蘓教ナル新キ實菓ヲ收メタリ今ニ至テモ波

斯印度ノ地方ニ於テ少ク火教ヲ奉スル者ノ遺
存スルアリ其教徒ハ品行善良ニシテ勉強ナル
人民ナリ中ニ於テ富ニ且ツ仁ナル人アリ即チ
其宗徒タルジヤゼツチ、チーチーホーイハ病
院、學校、其他貧民賑恤ノ爲ニ一百五十萬ドルヲ
強ク消費セリ世ニ復如此人アルヤ我未タ之
ヲ見ス我以爲ク實ニ一人ノカト雖トモ幾許ノ
功能有リヤハ人ノ能ク測知スヘキ所ニ非ス何
ヲ以テ然カ云フトナラハ彼ゾローロストルハ真
ノ名字ヲモ知ラス亦何ノ所ニ住シ何等ノ時ニ

生存シ何等ノ所ニ生レテ何等ノ事ヲ説キ誨ヘ
シヤハ前ニ記スル所ノ外ハ之ヲ明知スルニ由
ナシ然ルニ此一人ノ思想ノ泉源ヨリ數千載ノ
間流注スル所ノ者ハ能ク人ノ精神ヲシテ肥饒
ナラシメ以テ善ヲ輔翼シ惡ヲ撲滅スルノ功勳
ヲ奏スア、一己人ノカトイヘトモ亦太タ盛大
ナリト謂ハサルヘケンヤ

火教大意卷下 終

水都大業 卷一 五河岸白痴片

明治十六年八月四日版權免許
同年九月出版

定價五拾錢

譯者

静岡縣士族

林

董

彌町區富士見町四丁目七番地住

福島縣平民

出版人

干河岸貫一

本所區外手町三十九番地寄留



發兌

同心齋橋筋壹丁目

松村九兵衛

東京馬喰町貳丁目五番地

島村利助

同本郷春木町三丁目壹番地

英蘭堂支店

書肆

大阪備後町四丁目

吉岡平助

010190528745

